志願者8万人台に落ち込む

薬学人気のピークアウト鮮明に

私立薬大協19年度調査

日本私立薬科大学協会がまとめた2019年度の私立薬科大学（薬学部）入学志願者調査の結果、入学志願者数は8万9156人と前年度に比べて6746人少なく、7年ぶりの8万人台に落ち込んだ。5年連続の減少で、前年度から志願者の減少幅も大きくなっており、薬学人気のピークアウト感が一層鮮明になった格好だ。募集数に対する入試倍率も7・9倍と前年度より低下。高止まりから、なだらかな下落傾向に転じている。ただ、入試倍率には依然として大きな開きが見られ、大学間格差がさらに拡大する情勢となっている（表参照）

調査は、私立薬大協加盟の57校（徳島文理大香川を含む）を対象に実施されたもの。今年度の定員は1万1236人と、前年度の1万1351人から115人減少。6年制学科は1万0571人、4年制学科は665人となった。また、募集数は一般が7091人、推薦が4047人となり、昨年度に比べて一般が減少した一方、推薦は増加し、合計の募集数は1万1138人と昨年度よりわずかに減少した。

志願者数は、一般7万5785人（前年度8万1684人、推薦1万3271人（1万4218人）、合計で8万9156人と、昨年度から6746人と大きく減少した。志願者数は、15年度から減少に転じて以来、7年ぶりの8万人台と9万人を割り込んだ。志願者数の減少傾向が続いており、一時は志願者10万人を超えた薬学人気も、ピークアウト感が一層鮮明になった格好と言える。

志願者数の減少傾向に伴い、募集数に対する入試倍率も全体で7・9倍とやや下落し、なだらかな下落傾向が見られ始めている。これまで志願者が減少しながらも入試倍率は高止まりしていたが、徐々に下落傾向が強まっている。

6年制の一般は10・6倍（11・2倍）、推薦は3・4倍（3・7倍）、4年制は一般が12・1倍（12・1倍）、推薦が2・4倍（2・5倍）と、一般入試では依然として10倍を超えている状況。

入学志願者数は、全体で約7000人減少し、前年度より減少幅が大きくなったが、大学ごとの志願者数と倍率には大きな開きが見られる。入試倍率が平均の8・0倍を超えた人気のある大学は22校となった一方で、平均倍率を大きく下回り、倍率が3倍に満たなかった大学は11大学、2倍を切った大学も6校となるなど、少子化が一層進む中で大学間格差はさらに広がっている。

最も倍率が高く狭き門となったのは、近畿大で29・4（32・1倍）、次いで武蔵野大が22・2倍（19・9倍）、摂南大が21・7倍（25・7倍）となった。武蔵野大の倍率が上がり、摂南大と順位が逆転したが、前年度に比べて倍率は低下傾向にある。

高倍率の上位校を見ると、東京理科大が17・2倍（16・9倍）、崇城大学が13・6倍（12・3倍）、星薬科大学が13・3倍（14・8倍）福岡大学が12・8倍（12・6倍）、立命館大が11・9倍（14・9倍）、神戸学院大学が11・1倍（12・1倍）と続いており、前年に比べて入試倍率の変動にややばらつきが見られる。

また、10倍以上と競争率が高かった大学は、慶應義塾大学が10・8倍（11・9倍）、明治薬科大学が10・7倍（11・6倍）、昭和薬科大学が10・6倍（10・0倍）、帝京大学が10・1倍（13・0倍）、神戸薬科大学が10・0倍（11・0倍）と高い人気を集めていたが、前年度に比べると10倍以上の競争率が高い大学は減少した。

なお、倍率は4年制と6年制を区別せず、総定員数と総志願者数から割り出した。

2019年度私立薬系大学の入学志願状況

大学名	総定員	志願数	倍率	入学者
北海道医療	160	727	4.5	165
北海道科学	180	994	5.5	189
青森	70	114	1.6	54
岩手医科	120	183	1.5	48
東北医科薬科＊	340	1,083	3.2	320
奥羽	140	244	1.7	101
医療創生	90	397	4.4	57
国際医療福祉	180	990	5.5	186
高崎健康福祉	90	429	4.8	95
城西＊	300	1,592	5.3	279
日本薬科＊	350	1,635	4.7	353
城西国際	130	419	3.2	101
千葉科学	120	289	2.4	61
帝京平成	240	2,386	9.9	210
北里＊	295	2,532	8.6	308
慶應義塾＊	210	2,275	10.8	212
昭和	200	1,754	8.8	200
昭和薬科	240	2,541	10.6	248
帝京	320	3,221	10.1	364
東京薬科	420	2,821	6.7	414
東京理科＊	200	3,433	17.2	177
東邦	220	1,900	8.6	239
日本	244	1,875	7.7	261
星薬科＊	280	3,728	13.3	322
武蔵野	160	3,550	22.2	140
明治薬科＊	360	3,869	10.7	374
横浜薬科＊	370	3,190	8.6	398
新潟薬科	180	360	2.0	133
北陸	200	532	2.7	127
愛知学院	145	1,241	8.6	145
金城学院	150	904	6.0	150
名城	265	2,240	8.5	258
鈴鹿医療科学	100	454	4.5	106
京都薬科	360	2,491	6.9	366
同志社女子	120	1,035	8.6	123
立命館＊	160	1,908	11.9	145
大阪大谷	140	474	3.4	134
大阪薬科	294	2,279	7.8	311
近畿＊	190	5,578	29.4	191
摂南	220	4,784	21.7	219
神戸学院	250	2,786	11.1	256
神戸薬科	270	2,696	10.0	287
姫路獨協	100	155	1.6	30
兵庫医療	150	715	4.8	152
武庫川女子＊	250	1,960	7.8	230
就実	120	394	3.3	94
広島国際	120	412	3.4	72
福山	150	369	2.5	108
安田女子	120	505	4.2	84
徳島文理	180	241	1.3	72
徳島文理・香川	90	146	1.6	40
松山	100	345	3.5	93
第一薬科	173	455	2.6	147
福岡	230	2,936	12.8	231
長崎国際	120	539	4.5	123
崇城	120	1,637	13.6	132
九州保健福祉＊	140	414	3.0	108
	11,236	89,156	7.9	10,543

＊4年制併設校

（日本私立薬科大学協会調査・一部改変）

薬事日報

月水金発行
薬事日報社
東京本社　〒101-8648
東京都千代田区神田和泉町1
☎（03）3862-2141
FAX（03）5821-8757
大阪支社　〒541-0045
大阪市中央区道修町2-1-10
☎（06）6203-4191
FAX（06）6233-3681
購読料　半年18,300円
（税別）　1年33,550円

きょうの紙面

OTCへ移行可能
ガスモチン……2
薬剤師の活動に期待感
増原氏が講演…3
中計順調な滑り出し
中外製薬……7
特集　4～5
〈漢方製剤〉

本号8ページ